

掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1 10月1日	日刊工業新聞	30面 栃木県・宇都宮大・東京農工大 野生動物研究で協定	東京農工大学が、栃木県、宇都宮大学と野生動物の研究を推進するための包括連携協定を栃木県庁で締結し、野生動物の管理に関するシステム構築などで相互協力すると紹介。	学長 小畑 秀文 学長
2 10月1日	下野新聞	鳥獣被害解消へ連携 県と宇大、農工大が協定	東京農工大学が、栃木県、宇都宮大学と「野生動物管理のための研究推進に関する包括連携協定」を締結し、本年度から3年間、栃木県内の調査地で生態学と社会科学を融合した研究を行うと紹介。栃木県環境森林部では、野生動物管理の分野で複数の大学が参加し協定を結ぶのは初めてとコメント。	学長 小畑 秀文 学長
3 10月1日	msn産経ニュース	web 野生動物管理で協定 県と宇大、農工大 農業被害に対応 栃木	東京農工大学が、野生動物による農業被害が深刻化している状況を受けて、栃木県、宇都宮大学と野生動物の管理に関する人材養成と研究推進についての包括連携協定を結び、「総合的な野生動物管理システムの構築」を栃木県、宇都宮大学とともに行うと紹介。	学長 小畑 秀文 学長
4 10月2日	日刊工業新聞	28面 栃木県・宇都宮大・東京農工大 野生動物研究で協定	10月1日付け「栃木県・宇都宮大・東京農工大野生動物研究で協定」の記事において、東京農工大学小畑秀文学長を木畑秀文学長と記載したことを訂正。	
5 10月2日	日本経済新聞	38面 早稲田大と東京農工大 国私連携の共同大学院 健康科学で	東京農工大学が、早稲田大学と共同大学院を2010年4月に設置すると発表。国立大と私立大が組むのは初めて。新設するのは博士課程の「共同先進健康科学専攻」と紹介。	学長 小畑 秀文 学長
6 10月2日	毎日新聞	23面 東京農工大と早大が来年、共同で大 大学院設立	東京農工大学が、早稲田大学と共同大学院を10年4月に開設すると発表。国立大と私立大が共同で大学院を設置するのは全国初、新設するのは、共同先進健康科学専攻の博士課程(3年)と紹介。	学長 小畑 秀文 学長
7 10月2日	日刊工業新聞	25面 学際的な高度人材を養成 早大が3大学と共同大学院 健康医療では東京農工大	早稲田大学が、東京農工大学、東京女子医科大学、東京都市大学とそれぞれ共同大学院を設置し、複数大学が共同で教育し、連名の学位を出す。新時代の学際的な高度人材養成でいずれも2010年度にスタートすると紹介する記事で、東京農工大学との「共同先進健康科学専攻」を紹介。	学長 小畑 秀文 学長
8 10月2日	読売新聞	7面 ベツらいふ BOOK	東京農工大学出版会が7月に出版した「人が学ぶイヌの知恵」を紹介。	東京農工大学出版会
9 10月3日	読売新聞	31面 実験中に院生やけど	東京農工大学農学部附属動物医療センター(旧館)で、大学院生1名が実験中、バーナーの炎がエタノールの気化ガスに引火しやけどを負ったと掲載。	
10 10月3日	毎日新聞	7面 ノーベル賞 どう選考？ 開拓者を重視 50年後に公開	東京農工大学遠藤特別栄誉教授が、科学者にとって最高の栄誉であるノーベル賞の季節となったことを紹介する記事において、343人の受賞者中76人が後にノーベル賞を受けた「ラスカー賞」に、08年授賞と紹介。	遠藤 章 特別栄誉教授
11 10月4日	朝日新聞	18,19 面 朝日地球環境フォーラム2009 あすの農学を考える座談会 「小さな地球、無限の可能性	東京農工大学農学部が、「朝日地球環境フォーラム2009」の関連企画として、全国農学系学部長会議のメンバーや農業関係者と農学の今を考える記事において、全国農学系学部長会議構成大学として紹介。	農学部 國見 裕久 農学部長
12 10月5日	日刊工業新聞	4面 未来思考 経営戦略70 理工系教育と経営デザイン	東京農工大学林教授が、欧米の理工系教育で注目されているPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)について解説し、来年4月から早稲田大学大学院創造理工学研究科の経営デザイン専攻では、PBL手法を主体に、学部から大学院までの一環教育による「ものづくりDNA伝承」に向けた新しい仕組みを整えると紹介。	技術経営研究科 林 志行 教授
13 10月5日	農経しんぼう	1面 国産野菜の流通を検討 物流システムの確立など 青果物流通研	東京農工大学澁澤教授が、シンポジウムで国産野菜の生産流通のあるべき姿を講演し、「安定的で安価な物流システムの確立が求められる」と、今後の野菜流通の在り方を紹介。	共生科学技術研究院 澁澤 栄 教授
14 10月6日	日刊工業新聞	33面 東京農工大 国際連携を加速 台湾・ウクライナの大学と協定 博士育成と連携効果	東京農工大学が、台湾の清華大学、台湾交通大学、ウクライナのキエフ工科大学と年内にも連携協定を締結、イノベーションを創出する博士人材の育成と産官学連携を運動させるのが特色と紹介。	産官学連携・知的財産センター 千葉 一裕 産官学連携・知的財産センター長
15 10月6日	朝日新聞	23面 ノーベル賞、日本に身近に 初受賞から60年、昨年は一挙に4人も 00年以降は平均年1人	東京農工大学遠藤特別栄誉教授が、ノーベル賞が日本人にとって身近になってきたと紹介する記事において、昨年ラスカー賞を授賞したと紹介。	遠藤 章 特別栄誉教授

掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等			
16	10月8日	日本農業新聞	17面	減らない農作業事故 地方の対策「限界」 濫澤栄教授に聞く 安全優先の視点欠く	東京農工大学濫澤教授が、農作業事故が減らない、中山間地の多い中国四国地方で、条件不利地での農作業に安全面の視点は組み込まれているのか、現状の課題を探るとする記事にコメント。	共生科学技術研究院	濫澤 栄 教授
17	10月9日	日本経済新聞	33面	多摩の断面 「多摩モデル」構築めざす TAMA協、大手と中小の交流会 技術軸に新たな関係	首都圏産業活性化協会(TAMA協会、古川会長)が開催した「技術連携交流会2009inTAMA」に広域多摩の1都2県をはじめ甲信越および北関東から北陸、四国まで100社近い中小企業が参加した。中小企業と大企業の新たな関係を示す「多摩モデル」の構築をめざす試みと紹介。	技術経営研究科	古川 勇二 特任教授
18	10月9日	科学新聞	2面	在京3大学と共同大学院 早大、来年4月開設 医薬、原子力など人材育成	東京農工大学が、早稲田大学と共同大学院を2010年4月に開設すると発表。大学院生物システム応用科学府と早稲田大学理工学術院先進理工学研究所が「共同先進健康科学専攻」を設置、修了時には両大学連名で博士(生命科学)の学位を授与すると紹介。	学長	小畑 秀文 学長
19	10月9日	科学新聞	8面	10大学が先端研究紹介 科博で企画展 10月30日から	東京農工大学などが、国立科学博物館で10月30日から開催する企画展「発見！体験！先端研究 @上野の山シリーズ・大学サイエンスフェスタ」に参加すると紹介。	大学サイエンスフェスタ実行委員会委員長(科学技術展)	堤 正臣 教授
20	10月12日	日刊工業新聞	4面	未来思考 経営戦略71 コロンブスと経営資質	東京農工大学林教授が、10月12日はコロンブス・デーで、コロンブスが歴史に名を刻むことができたのは、運も実力の内であるものの、基礎となるスキルをどこで学び、実力をどこで付けていくか、ストーリーがブランドとして固まるには、ある程度の時間を必要とすると解説。	技術経営研究科	林 志行 教授
21	10月12日	日刊工業新聞	11面	書窓 学生育成の規範となる「論語」 確固たる道徳観念が必要	東京農工大学小畑学長が、自身の読書歴の中でも頻りに手に取ってきたのは孔子の「論語」で、気に入った部分を時々、眺めてまた考えるという形で、長く親しんでいると紹介。	学長	小畑 秀文 学長
22	10月19日	日刊工業新聞	4面	未来思考 経営戦略72 顧客営業のグレーゾーン	東京農工大学林教授が、顧客情報を用いてのDM送付、電話をかける行為にはグレーゾーンがある。土足での訪問は歓迎されず、結果的に顧客を逃すことになることに気づき、そろそろ変革を提案。	技術経営研究科	林 志行 教授
23	10月19日	NHKワールド	テレビ	ASIA BIZ FORECAST	東京農工大学遠山教授が、農作業パワースーツを紹介及び、水内准教授が、筋骨格型ヒューマノイドに関連したインタビューを紹介。	共生科学技術研究院	遠山 茂樹 教授 水内 郁夫 准教授
24	10月20日	日刊工業新聞	29面	安全・安心 健康プロ 女性視点の研究支援 東京農工大が4教員追加	東京農工大学が、平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者養成システム改革加速」プログラムに採用され、10月1日付けで女性研究者4名を採用した。競争率は15倍。既に籍女性研究者を交えた産学連携の「女性の視点で考える安全・安心・健康」プロジェクトを準備中で、女性教員の課題提案型の研究力向上でも支援を進めていくと紹介。	女性未来育成機構	宮浦 千里 女性未来育成機構長
25	10月20日	日本農業新聞	1面	都市農業再生へ 東京でサミット 支援制度拡充で宣言	東京農工大学濫澤教授が、全国の56都市の市長や農業関係者らによる「都市農業サミット」において、基調講演を行ったと紹介。	共生科学技術研究院	濫澤 栄 教授
26	10月20日	農機新聞	4面	精密農業の意志決定支援パラダイム 4つの知で決定する 営農者が必要なノウハウ提供	東京農工大学小平産学官連携研究員が、農業環境工学関連学会2009年のオーガナイズドセッション「精密農業のための意志決定支援パラダイム」における、精密農業による意志決定支援システムの新パラダイムへ向けたブレインストーミングについて内容を寄稿。	共生科学技術研究院 農学府濫澤研究室 農学府濫澤研究室	濫澤 栄 教授 小平 正和 産学官連携研究員 小島 陽一郎 氏
27	10月22日	産経新聞	6面	from Editor 禁煙後進国ニッポン	東京農工大学阿部准教授が、禁煙外来に取り組んでおり、「大病で手術が必要になっても、執刀医が喫煙者だとわかったら医者を代わった方がいい」とのコメントを紹介。	保健管理センター	阿部 真弓 准教授
28	10月25日	読売新聞	18,19面	工学フォーラム2009 「安心・安全」を支える科学技術とサステナブルな社会の実現 連携・調和で力を発揮	東京農工大学工学部が、科学技術が社会の安心・安全を築くために、どのように役立っているかを考える「工学フォーラム2009」を紹介する記事において、国立大学53工学系学部長会議構成大学として紹介。	工学部	纈纈 明伯 工学部長
29	10月26日	日刊工業新聞	4面	未来思考 経営戦略73 無印良品の設計デザインと現場力	東京農工大学林教授が、ペットを購入する際に、店舗での対応を現場力1、配送業者の組み立て作業を現場力2と仮定し、顧客は、配達終了までが購入行為であることから、販売会社は、搬入しやすく、組み立てやすい商品デザインに神経を注ぐ。スピード経営とコスト削減はアウトソーシング化する企業のとてあり、中小企業にも提案力のチャンスが広がると提案。	技術経営研究科	林 志行 教授
30	10月29日	日刊工業新聞	30面	ラウンジ 研究に生きる	東京農工大学鹿野名誉教授が、定年退職後の計測機器製造、販売会社の技術顧問として活躍していることを紹介。		鹿野 快男 名誉教授

掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等	
31	10月29日	読売新聞	19面 教育ルネサンスNo.1159 動物と生きる 3 傷ついた鳥 野生に戻す	東京農工大学野生動物研究会が、2008年4月から「リハビリケージ・プロジェクト(RCP)」を開始し、野生復帰前の野鳥の世話や飛翔訓練などの活動を紹介します。	野生動物研究会 (農学部)	綿貫 宏史朗氏(学生)
32	10月30日	産経新聞	19面 「江戸野菜」で創作レシピ募集	東京農工大学の学生が、他大学の学生も参加するサークルで、「江戸東京野菜」を使った創作料理コンテストを企画していると紹介。	工学府	飯田 剛史氏(学生)

追加記事等

掲載年月日		媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等	
1	9月30日	日本農業新聞	16面	目的ははっきりと 農水省のGAP共通基盤検討会 年度内作成めざす	東京農工大学濫澤教授が座長を務める「農業生産工程管理(GAP)の共通の基盤づくりに関する検討会」が2回目の会合を開き、「標準的GAP」を今年度内に作成を目指すを紹介。	共生科学技術研究院	濫澤 栄 教授